

Picture(s)

Tanaka Kazuhito

田中 和人

Gallery PARC

Statement

Picture(s) - 抽象的なペインティング。

そして、暗室で露光され、様々な色に発色した印画紙(カラーフォトグラム)の構成。

アクリルボックスが彼らの運命を封印する。

その平面上に、ヒエラルキーはない。

彼らは、メディウムとしての差異をそのまま提示しながらも、共存し、影響し合う。

メディウムの歴史上の緊張関係を解放するカンバセーション。

破かれ、折りこまれたフォトグラムは重なり合い、キャンバスから浮遊する。

それらは、絵の具のストロークを模倣しながらも、その色や彫刻的な形態は、より鮮やかに。

絵画、あなたは誰？ 写真、あなたは誰？ あるいは、私は誰？ 形象を持たずに。

本展は、最新作「Picture(s)」とともに、「GOLD SEES BLUE」・「PP」・「pLastic_fLowers」・「Land」シリーズ作品を同空間に展示することで、俯瞰的かつ有機的に、制作活動の全体像を浮かび上がらせることを試みる。

*ビル内各所にも田中和人の作品を展示しております。是非ご覧ください。

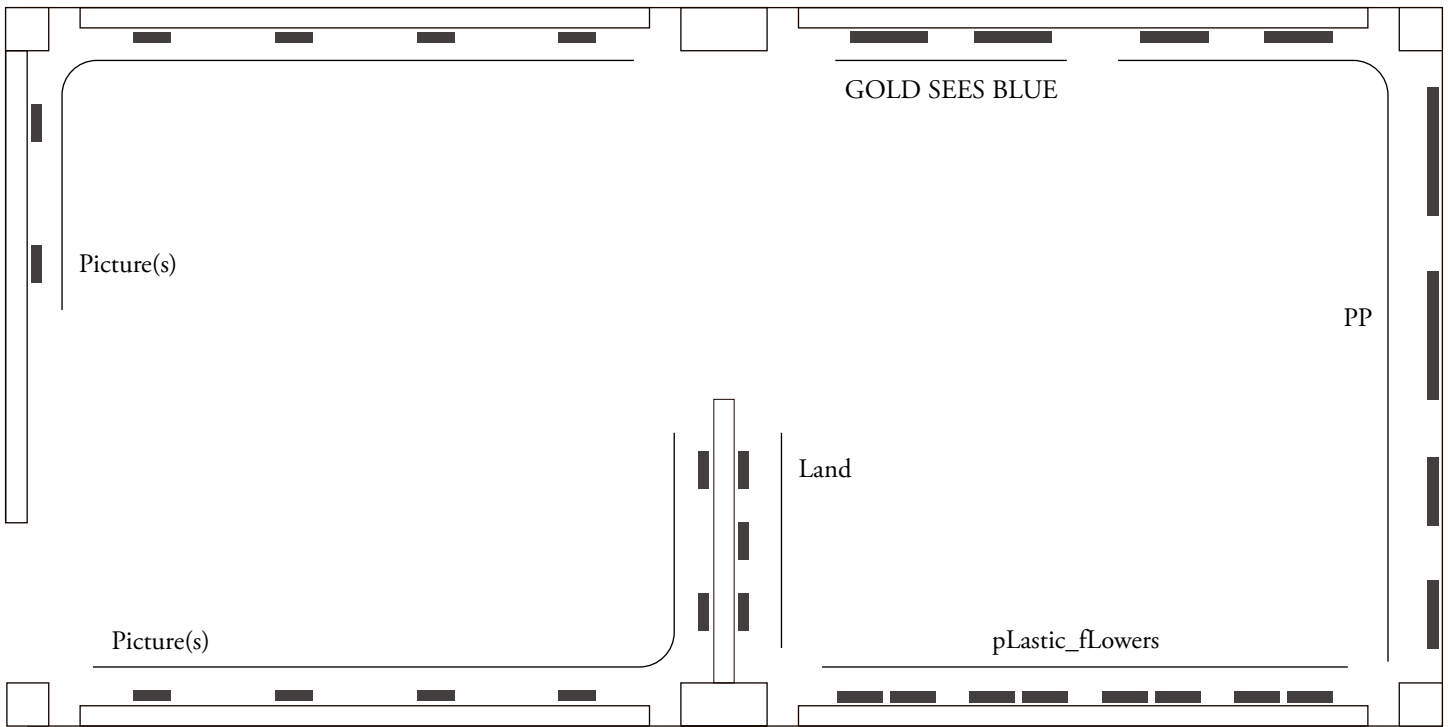
[EXTRA NEUTRAL] 田中和人：Picture(s)

■会場:堀川新文化ビルチング1F カフェ・ウィンドウ・階段

■会期:3月1日[水]~3月26日[日]会期中無休

■各所の営業時間にご覧いただけます。

主催:NEUTRAL / 企画・展示協力:Gallery PARC



Picture(s) [2022~]

ペインティングとフォトグラフ、2つのピクチャーが共存したもの。「PP」シリーズの展開となるが、先にキャンバスに描いたペインティングを真似るように、暗室での手作業によって様々な色に露光されたフォトグラフ(印画紙)を立体的に構成することで、「絵画」「写真」あるいは「彫刻」という異なるメディアが等しく存在し、関係することで、完成された画面を構成している。

GOLD SEES BLUE [2009~]

金箔をフィルターとして、金箔の透過光(青色の光)あるいは反射光(金色の光)で森を撮影した作品。

PP [2019~]

キャンバスに描いたアブストラクトなペインティングの上に、様々な色に露光させたフォトグラフ(印画紙)を置いたもの。「絵画」「写真」という異なるメディアを維持しながら、同一の作品上にまるで「地と図」のレイヤーのように共存することで、互いを解体・回復する関係が起動する。

pLastic_fLowers [2015~]

机の上に置いた花瓶に活けられた花とカメラとの間に透明な板を立て、そこに花の様々な角度からの「見た目」をドローイング(あるいはペインティング)し、最後にペイントされた透明な板越しに花を重ねて撮影する手法によるもの。

Land [2020~]

飛行機の窓から地表を撮影した写真をプリントアウトしたものに、カラーフィルム越しの光によってライティングしたものを再度撮影したもの。

C.V.

田中 和人 TANAKA KAZUHITO

<https://www.kazuhitotanaka.com>

1973年埼玉県生まれ。アーティスト、sodaディレクター。

明治大学商学部卒業後、会社勤務を経て渡米。2004年 School of VISUAL ARTS(ニューヨーク)卒業。写真と絵画の関係性を軸に、写真による新しい抽象表現を探求し、国内外で作品を発表。また、京都ベースのアーティスト・ラン・スペース「soda」のディレクターを務め、展覧会の企画にも取り組む。現在、京都と福岡を拠点に活動中。2011年 TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD グランプリ受賞。

主な個展に、2022年「Picture(s)」(KANA KAWANISHI GALLERY、東京)、「Picture(s)」(Paris London Hong Kong、シカゴ)、2019年「Self-Dual」(Galley PARC、京都)、2018年「GOLD SEES BLUE」(Maki Fine Arts、東京)、2017年「トランス/リアル - 非実体的美術の可能性 vol.7 田中和人」(αM、東京)、2015年「pLastic_fLowers」(Maki Fine Arts、東京)、「high & dry」(Gallery PARC、京都)など。

主なグループ展に、2021年「Foreland」(Foreland、キャッツキル)、「Never the Same Ocean」(soda + HAGIWARA PROJECTS、東京)、「風とイメージ」(Sprout Curation、東京)、2019年「S/F - 写真、あるいは、200年後のモノリス-」(KAYOKOYUKI + soda、東京)、2016年「TAMA VIVANT II 美術・あいまいなパラダイム」(多摩美術大学、東京)、2015年「NEW BALANCE #3」(XYZ collective、東京)、「hyper-materiality on photo」(G/P gallery shinonome、東京)など。